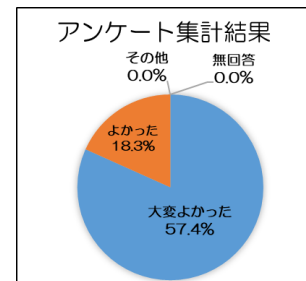


令和7年度 特別支援教育講座 特別支援研修会Ⅰ-②

目 的	特別支援教育について基礎を学ぶ
日時・形式	令和7年6月4日（水）14：30～16：00 オンライン開催
対 象	乳幼児教育・保育施設等の職員 ＊西九州させば広域都市圏対象講座
演 題	「保護者目線で考える保護者支援」
内 容	講義
講 師	兵庫大学 准教授 藤野正和 氏

参加者（合計 95 名）				
保育所	幼稚園	認定こども園	その他	連携中枢都市
34	32	5	1	23



<感想>

- ・保育士2年目ということもあり、保護者対応に悩むことが増えてきつつあったのでとても勉強になりました。保護者の理解だけでなく自分を知ってもらうことも信頼関係を築く一つだということ学んだので今できることから取り組んでいきたいなと思いました。
- ・2回にわたり、とても良い研修を受講させて頂きありがとうございました。
子どもの特性を理解し個々に応じた対応の難しさを普段から感じることもあり、今回の研修で学び取ることが出来ました。日頃から保護者対応についても難しい面もあり、まずはコミュニケーションを取り保護者との信頼関係を築いていきたいと思います。
- ・保護者の表面上の言葉だけでなく、裏の言葉に気づき理解すること、保護者に保育者自身のことも知ってもらうことなど、保護者との信頼関係のために保育者として出来ることを学ぶことが出来ました。子どもたちとの関わりで意識している事は、保護者との関わりの中でも大切になってくる事だと知ることができました。子ども、保護者対応へのステップアップへと繋がる研修となりました。
- ・様々な家庭や考え方の保護者がいる中、言葉の選び方や関係性の築き方に悩むことが多いですが、今回の研修を通して自分の言動を振り返ったり、保護者目線で考えることの大切さを改めて感じたりすることができました。保護者の特性やよく使う言葉を知ること大切ですが、同時に自分自身が相手にどのような言い方をしてどのような影響を与えているのかに気づくことも大切だと知り、日々、振り返ったり他者の意見を聞いたりしながら改善していきたいと思いました。子どもにとって一番身近な家庭・保護者が自信をもって育児をしたり近くの人に相談したりできるような支援を心掛けたいと思います。

